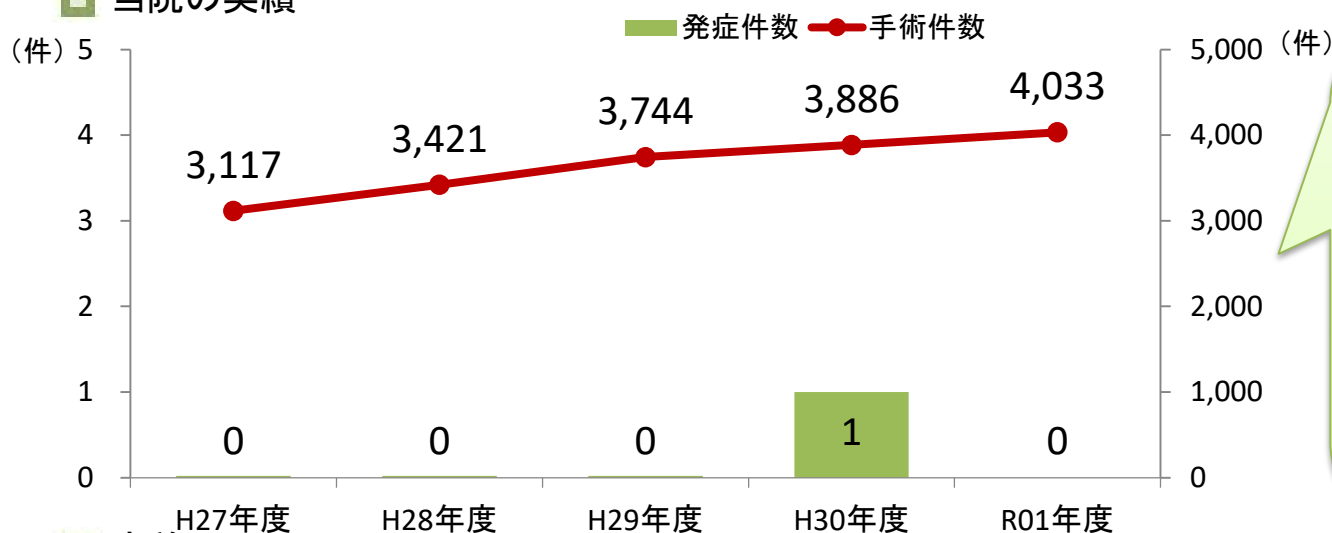


眼科：術後細菌性眼内炎発症数

■ 解説: **outcome**指標

白内障手術・緑内障手術・硝子体手術・硝子体注射等、眼内手術中あるいは術後に細菌が眼内に侵入し、感染をおこします。発症頻度は約0.03%～0.05%程度と報告されていますが、発症した場合、急激な視力低下を認め、失明に至る重篤な疾患です。術後細菌性眼内炎の発症をなくすために、術前の抗生剤点眼や、術中の清潔の確保、術後の管理や点眼指導を行っています。

■ 当院の実績



《自己点検評価》

平成25年度から令和元年度の間術後細菌性眼内炎の発症数は1例のみでした。引き続き、術前点眼、術中の清潔確保、術後管理を徹底し、発症を最小限に抑えるように努力していきます。

■ 定義

眼内手術の術後細菌性眼内炎の発症数

■ 算式

眼内手術の術後細菌性眼内炎の発症数
年度内に実施した眼内手術および硝子体注射の総件数

■ 参照文献・学会ガイドライン等

目の病気 感染性眼内炎(日本眼科学会HP)

【眼感染症の傾向と対策-完全マニュアル】疾患別:診断・治療の進め方と処方例:眼内炎 術後細菌性眼内炎
(解説/特集), 臨床眼科, 2016; 70(11):266-273.

